



美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校
すすんで学び行動しよう
ぎぶあっぷしない

第 22 号
令和5年 1月11日発行
美杉中学校長
坂本 直哉

= 今年もよろしくお願ひします。 =

3学期がスタートしました。新型コロナウイルス感染症への対応は変わらず求められています。しかし、2学期に引き続き、生徒が心身の成長が実感できる取組を**ギブアップ**することなく、すすめていきます。みなさんのご理解とご支援をお願いいたします。

1月10日の始業式では、今年も『**思い(想い)**』が支えとなることを生徒に伝えました。どんなことを目指すにも、どんなことをやり遂げるにも、『思い』が最後には自分の支え・力になります。『思い』を強く持ち、自ら『**動く**』力につなげてほしいと思っています。

【表彰&記録等】

◎12/24 三重県アンサンブルコンテスト地区大会 中学校の部
サクソフォン2重奏 銀賞 岡田 匠未 ・ 坂岡 楼菜



学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

2学期末にご依頼いたしました「学校評価アンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。生徒・保護者のみなさんからの回答をいただき、本校の教育活動の成果や課題を把握し、今後の教育活動の改善や進展に活かしていく、ひとつの指標としています。

集計の結果は、以下のようになりました。

学校評価アンケート 集計結果			
	項 目	生 徒	保 護 者
1	学校生活を楽しく過ごしている	94 [↗10]	77 [↘12]
2	家庭学習の習慣が身についている	62 [↘15]	63 [↗10]
3	学力(学ぶ力)を身につけてきている	88 [↘2]	83 [↗11]
4	学校は、学力の定着や向上に努めている	100 [↗3]	83 [↘13]
5	決まりを守ろうとする気持ちが身につけてきている	97 [→]	94 [→]
6	「ノーマディター」等、生活習慣の向上に役立っている	67 [↘4]	48 [↗3]
7	家庭(地域)ですすんで挨拶をしている	94 [↗14]	87 [↘6]
8	部活動に自ら進んで参加している	87 [↘9]	93 [→]
9	体力(気力を含む)の向上を感じる	69 [↘20]	77 [↘6]
10	人権を尊重し命を大切にすることが育ってきている	100 [↗4]	97 [↘3]
11	生徒理解のために適切な教育相談を行っている	84 [↘5]	92 [↘3]
12	いじめや差別などの心配がない	93 [→]	88 [→]
13	体罰や暴力などの心配がない	97 [→]	96 [→]
14	各種通信等を通して開かれた学校づくりに努めている		97 [→]

※ 数値は%, []内の数値は1学期末との比較

※ 青色 UP ・ 赤色 DOWN ・ 黒色 前回と同じ

【裏面へ】

《アンケート結果より》

◎ 14項目のうち10項目について、概ね肯定的（肯定的回答80%超）な評価をいただいています。生徒・保護者のみなさんの学校に対するご理解・ご支援が本校における教育活動の大きな支えになっています。一方で、1学期末から評価の下がっている項目のほか、生徒と保護者との評価に差異のある項目もみられます。生徒と保護者、教職員との関係性や連携が十分に取れていなかった面や、学校からの発信等に課題があったと考えます。今まで以上に、三者相互の情報共有や共通認識を深めていく意識を持って取り組んでいきます。忌憚のないご意見や思いを学校に届けていただければ幸いです。

◎ 学校生活について

1「学校生活を楽しく過ごしている」（生徒94・保護者77）における生徒からの高い評価は、私たち教職員にとって、とてもありがたい結果であり、今後の糧としなければなりません。その支えになっているものとしては、5「決まりを守ろうとする気持ちが育っている」（生徒97・保護者94）、10「人権を尊重し命を大切に」（生徒100・保護者97）、12「いじめや差別などの心配がない」（生徒93・保護者88）、13「体罰や暴力などの心配がない」（生徒97・保護者96）があげられます。規律ある生活の中で、仲間とのかかわりを築いていく。また、自分も含め、まわりの人を思う心を大切にする取組を立ちどまらず進めていきます。そうした生徒たちの活動を保護者の方々とともに共有し、保護者の思いや願いに今以上に寄り添った取組を充実させることが、保護者の方々の評価の向上につながると考えます。



◎ 学力について

3「学力を身につけてきている」（生徒88・保護者83）、4「学力の定着や向上に努めている」（生徒100・保護者83）より、学力向上への取組に高い評価をいただいています。一人一台タブレット端末が導入されて3年目。生徒が学ぶ傍らにタブレットがある風景も日常になってきました。今年は、『使い慣れることから、効果的に活用する』ことを目標に掲げ、教職員も日々試行錯誤を繰り返しています。生徒のタブレットを使用するスキルも向上しています。今後も、さらにICTの効果的活用を目指して取り組んでいきます。



一方で、3「家庭学習の習慣が身についている」（生徒62・保護者63）、6「ノディア等、生活習慣の向上に役立っている」（生徒67・保護者48）の項目における評価には、昨年からの改善に向かった跡はうかがえますが、依然として課題となっています。今年も、生徒会を中心に呼びかけと自己のチェックに取り組んでくれました。家庭でのお声掛けなどのご協力を再度お願いいたします。生徒たちの日常生活に、スマホをはじめとするメディアが深く入り込んでいる現状でも、生徒たちが学習に向かう姿勢を決して疎か（おろそか）にしてはいけません。ICT学習を家庭学習に組み込む仕組みを作り上げていくことも今後有効な手立てになると考えます。たとえ、「ノディア」とならずとも、少なくとも「**セブディ**」にする意識から、生徒自らが学習する姿を育んでいきたいと考えます。引き続き、学校と家庭が連携する取組としてご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

《お詫びとお願い》 ～令和4年度（本年度）卒業式について～

今年度の卒業式は、3月13日（月）に実施する予定になっています。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今年度も、保護者のみなさまに限りご参列をいただく予定となっています。また引き続き、来賓の方々のご参列については、ご遠慮いただく旨の通知が届いております。なにとぞ、みなさまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。